

図解でわかる接続語・独立語

図解で確認：接続語と独立語

前の内容

→

接続語

→

後の内容

接続語

- 前後の文や内容をつなぐ。
- 例：だから、しかし、また、さて。
- 順接・逆接・追加・転換などの関係を見る。

独立語

- ほかの文節に直接係らない。
- 呼びかけ、応答、感動などを表す。
- 例：はい、ああ、先生、さあ。

見分けるコツ：接続語は「前後をつなぐ」。独立語は「文の中で少し独立している」。読点だけで判断しないようにしましょう。

基本の確認

問1

選択問題

下線部の文の成分を選びなさい。

朝は雨だった。しかし、昼には晴れた。

ア 接続語 イ 独立語 ウ 修飾語

問2

選択問題

下線部の文の成分を選びなさい。

はい、すぐに準備します。

ア 接続語 イ 独立語 ウ 述語

接続語の役割

問3

選択問題

下線部の接続語が表す関係を選びなさい。

宿題を終えた。だから、本を読んだ。

ア 逆接 イ 順接 ウ 転換

独立語の種類

問4

選択問題

下線部の独立語の種類を選びなさい。

山本さん、この本を貸してください。

ア 呼びかけ イ 感動 ウ 応答